

開講年度	令和3年度	開講期間	前期
科目名	社会福祉学		
担当教員	森原 徹		
学年	1年	学科	作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	<p>理学療法士・作業療法士として従事する医療現場等において、社会福祉の諸制度の理解や活用を求められることも多く、年々ニーズは多様化している。又、近年内容は複雑なものとなっている。</p> <p>社会福祉の歴史を通し、基礎的な内容を修得し専門職としてのスキル向上を目標とする。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉とは何か 2. 社会福祉の歴史 3. ソーシャルワークの理解 4. グループワークの理解 5. グループワークの実践 6. エンパワーメントとは 7. ノーマライゼーションの考え方 8. ICFに基づく考え方 9. 介護保険制度について 10. 社会保障制度と公的扶助について 11. 児童福祉と母子・寡婦福祉について 12. 障害者福祉について 13. 医療保険制度と労働保険制度について 14. 社会福祉の今後の課題について 15. 社会福祉学のまとめ 		
教科書	使用しない		
参考書	必要な文献・レジュメを適宜準備		
評価方法	試験		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	前期
科目名	生物学		
担当教員	東 秀孝		
学年	1年	学科	作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	<p>生物学は、自然と生命に対し、深い理解をもって豊かな人生を送るために、最も役に立つ学問であります。 生物について知識を深め、ヒトを含めた生命体の仕組みを知っていきます。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造と生命誕生 2. 生命体を構成する物質 3. 遺伝子の構造と機能 4. 生体とエネルギー 5. 光合成と窒素同化① 6. 光合成と窒素同化② 7. 細胞の分裂・情報伝達・がん化 8. 生命体の受精と生長 9. 多細胞生物の自己維持機構 10. 遺伝の仕組みと遺伝病① 11. 遺伝の仕組みと遺伝病② 12. 生物と環境が作る生態系① 13. 生物と環境が作る生態系② 14. 生物の進化と多様性 15. 生命科学技術と社会 		
教科書	『やさしい基礎生物学』【編】南雲保（羊土社）		
参考書	資料		
評価方法	出席状況、レポート提出、授業態度、筆記試験		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	作業・理学療法セミナー		
担当教員	江口 昌充		
学年	1年	学科	作業・理学
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	コミュニケーション学を通して、社会へ出ていくときの「パフォーマンス・ポテンシャル」を医療スタッフとして最大限に高め、発揮できる力を養うことを目標とする。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 仕事に取り組む心構え 3. コミュニケーション実践(OSCE) 4. 言葉遣いの基本① 5. 言葉遣いの基本② 6. 言葉遣いの応用 7. 電話対応の基本 8. 失語症や認知症の方への対応 9. 手紙の書き方(挨拶状・お礼状) 10. 訪問・面接の方法 11. 文章カステップ 4級① 12. 文章カステップ 4級② 13. 文章カステップ 4級③ 14. 文章カステップ 4級④ 15. 文章カステップ 4級⑤ 		
教科書	『基礎から学べる！ 文章カステップ 4級』 【著】 日本漢字能力検定協会（日本漢字能力検定協会）		
参考書			
評価方法	出席状況、授業態度、筆記試験		
備考	この科目は実務経験のある教員による授業科目である。 理学療法士として一般病院のリハビリテーション業務に携わる(15年間)。		

開講年度	令和3年度	開講期間	通年																														
科目名	解剖生理学																																
担当教員	岩月 宏彦 ・ 岩崎 圭佑																																
学年	1年	学科	作業・理学																														
単位数	8単位	時間数	120(60)時間																														
学習目標	<p>患者様の治療にたずさわるには、ヒトの体の仕組みをしっかりと理解する必要がある。この目的のために、本科目では最初に人体の構成単位である細胞と、その集団である組織の構造と機能を理解する。それにより生命現象を学ぶ楽しさを知り、医学的な考え方を身につける。次いで、それを基礎にして、前期では循環器、免疫と呼吸器の構造と機能を理解し、今までは当然と思っていた様々な生命現象を医学的に説明できるようになる事を目的とする。</p>																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 細胞の構造と機能-1:細胞の分化、細胞膜(岩月)</td> <td>2. 1. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>3. 細胞の構造と機能-2:細胞の使うエネルギー、細胞小器官(岩月)</td> <td>4. 3. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>5. 細胞の構造と機能-3:核と遺伝子、細胞周期と幹細胞(岩月)</td> <td>6. 5. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>7. 組織の構造と機能-1:上皮組織、支持組織(岩月)</td> <td>8. 7. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>9. 組織の構造と機能-2:神経組織、膜電位(岩月)</td> <td>10. 9. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>11. 組織の構造と機能-3:神経の興奮伝達と情報の統合(岩月)</td> <td>12. 11. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>13. 組織の構造と機能-4:骨格筋の構造、筋収縮のメカニズム(岩月)</td> <td>14. 13. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>15. 循環器系-1:血液、組織液(岩月)</td> <td>16. 15. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>17. 循環器系-2:心臓の構造、心臓の収縮、心電図(岩月)</td> <td>18. 17. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>19. 循環器系-3:毛細血管、動脈、静脈(岩月)</td> <td>20. 19. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>21. 循環器系-4:局所循環、脈拍、血圧(岩月)</td> <td>22. 21. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>23. 免疫系-1:自然免疫、リンパ球(獲得免疫)、リンパ管(岩月)</td> <td>24. 23. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>25. 免疫系-2:リンパ節、胸腺、脾臓、粘膜付随リンパ組織(岩月)</td> <td>26. 25. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>27. 呼吸器系-1:気道の構造、肺胞(岩月)</td> <td>28. 27. の復習(岩崎)</td> </tr> <tr> <td>29. 呼吸器系-2:呼吸運動、肺活量、呼吸運動の調節(岩月)</td> <td>30. 29. の復習(岩崎)</td> </tr> </table>			1. 細胞の構造と機能-1:細胞の分化、細胞膜(岩月)	2. 1. の復習(岩崎)	3. 細胞の構造と機能-2:細胞の使うエネルギー、細胞小器官(岩月)	4. 3. の復習(岩崎)	5. 細胞の構造と機能-3:核と遺伝子、細胞周期と幹細胞(岩月)	6. 5. の復習(岩崎)	7. 組織の構造と機能-1:上皮組織、支持組織(岩月)	8. 7. の復習(岩崎)	9. 組織の構造と機能-2:神経組織、膜電位(岩月)	10. 9. の復習(岩崎)	11. 組織の構造と機能-3:神経の興奮伝達と情報の統合(岩月)	12. 11. の復習(岩崎)	13. 組織の構造と機能-4:骨格筋の構造、筋収縮のメカニズム(岩月)	14. 13. の復習(岩崎)	15. 循環器系-1:血液、組織液(岩月)	16. 15. の復習(岩崎)	17. 循環器系-2:心臓の構造、心臓の収縮、心電図(岩月)	18. 17. の復習(岩崎)	19. 循環器系-3:毛細血管、動脈、静脈(岩月)	20. 19. の復習(岩崎)	21. 循環器系-4:局所循環、脈拍、血圧(岩月)	22. 21. の復習(岩崎)	23. 免疫系-1:自然免疫、リンパ球(獲得免疫)、リンパ管(岩月)	24. 23. の復習(岩崎)	25. 免疫系-2:リンパ節、胸腺、脾臓、粘膜付随リンパ組織(岩月)	26. 25. の復習(岩崎)	27. 呼吸器系-1:気道の構造、肺胞(岩月)	28. 27. の復習(岩崎)	29. 呼吸器系-2:呼吸運動、肺活量、呼吸運動の調節(岩月)	30. 29. の復習(岩崎)
1. 細胞の構造と機能-1:細胞の分化、細胞膜(岩月)	2. 1. の復習(岩崎)																																
3. 細胞の構造と機能-2:細胞の使うエネルギー、細胞小器官(岩月)	4. 3. の復習(岩崎)																																
5. 細胞の構造と機能-3:核と遺伝子、細胞周期と幹細胞(岩月)	6. 5. の復習(岩崎)																																
7. 組織の構造と機能-1:上皮組織、支持組織(岩月)	8. 7. の復習(岩崎)																																
9. 組織の構造と機能-2:神経組織、膜電位(岩月)	10. 9. の復習(岩崎)																																
11. 組織の構造と機能-3:神経の興奮伝達と情報の統合(岩月)	12. 11. の復習(岩崎)																																
13. 組織の構造と機能-4:骨格筋の構造、筋収縮のメカニズム(岩月)	14. 13. の復習(岩崎)																																
15. 循環器系-1:血液、組織液(岩月)	16. 15. の復習(岩崎)																																
17. 循環器系-2:心臓の構造、心臓の収縮、心電図(岩月)	18. 17. の復習(岩崎)																																
19. 循環器系-3:毛細血管、動脈、静脈(岩月)	20. 19. の復習(岩崎)																																
21. 循環器系-4:局所循環、脈拍、血圧(岩月)	22. 21. の復習(岩崎)																																
23. 免疫系-1:自然免疫、リンパ球(獲得免疫)、リンパ管(岩月)	24. 23. の復習(岩崎)																																
25. 免疫系-2:リンパ節、胸腺、脾臓、粘膜付随リンパ組織(岩月)	26. 25. の復習(岩崎)																																
27. 呼吸器系-1:気道の構造、肺胞(岩月)	28. 27. の復習(岩崎)																																
29. 呼吸器系-2:呼吸運動、肺活量、呼吸運動の調節(岩月)	30. 29. の復習(岩崎)																																
教科書	『系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能「1」』 【著】坂井健雄・岡田隆夫 (医学書院) 『解剖生理学ワークブック』【著】坂井健雄・岡田隆夫 (医学書院)																																
参考書	必要に応じてプリントを配布																																
評価方法	期末試験																																
備考	岩月のメールアドレス:hirohiko-iwatsuki@ae.auone-net.jp(何時でも質問可)																																

開講年度	令和3年度	開講期間	前期
科目名	リハビリテーション概論・医療		
担当教員	江口 昌充		
学年	1年	学科	作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	リハビリテーションの概念や理念、健康と障害の概念や分類、障害の心理と受容、またリハビリテーションに関わる職種、病院・施設・地域におけるリハビリテーションの関わり方、医療福祉制度の基礎を学ぶことにより、医療・福祉・地域社会における現在の作業・理学療法士の位置づけを理解してもらい、これからどのようなセラピストを目指すのかをイメージできるようにする。		
授業計画	第1章 1. リハビリテーションの概念・理念・定義 第2章 2. 健康・疾病・障害の概念 (1)－健康疾病障害、疾病と障害の分類－ 3. 健康・疾病・障害の概念 (2)－障害へのアプローチ、廃用、誤用、過用症候群－ 第5章 4. リハビリテーション過程 (1)－評価－ 5. リハビリテーション過程 (2)－ゴール設定・プログラム作成・クリニカルパス－ 第6章 6. リハビリテーションの諸過程 (1)－医学的リハー 7. リハビリテーションの諸過程 (2)－職リハ、社会的リハ、教育的リハー 第7章 8. 医療とリハビリテーション専門職種と役割 (1)－医療職種に関わる諸問題－ 9. 医療とリハビリテーション専門職種と役割 (2)－リハビリテーション専門職種－ 第8章 10. チームアプローチ (1)－チーム医療と連携医療－ 11. チームアプローチ (2)－リハプログラムとクリニカルパス－ 第9章 12. ADL, QOLの概念と評価法 (1)－ADL－ 13. ADL, QOLの概念と評価法 (2)－IADL・QOL 第10章 14. 地域リハビリテーションと社会資源、在宅ケア (1)－社会資源－ 15. 地域リハビリテーションと社会資源、在宅ケア (2)－在宅ケア－		
教科書	『医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論 改訂第2版』 【著】 上好昭考 他 (永井書店)		
参考書	適宜お知らせします。		
評価方法	筆記試験		
備考	リハビリテーションをこれから専門的に学ばれる学生さんの道しるべとなる科目です。将来の自分のイメージ(患者様と関わっている自分)をしっかりと持ち、一日一日を大切に学習に励んで下さい。		

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	作業・理学療法管理学		
担当教員	江口 昌充		
学年	1年	学科	作業・理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	<p>マネジメントについて学習することで、危機を防ぐマネジメント能力を身につける。 病院・施設・在宅などでの対象者に対する課題の把握とリスク管理やマネジメントについて理解できる。 職場内のマネジメントについて理解できる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理学とは 2. 組織と関連法規 3. 職業倫理 4. リスク管理① 5. リスク管理② 6. リスク管理③ 7. 病院における管理・運営① 8. 病院における管理・運営② 9. 病院における管理・運営③ 10. 病院における管理・運営④ 11. 介護保険における管理・運営① 12. 介護保険における管理・運営② 13. 介護保険における管理・運営③ 14. 介護保険における管理・運営④ 15. まとめ 		
教科書	使用しない。		
参考書	「リハビリテーション管理学」【編著】齋藤昭彦 下田信明(羊土社) 「リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック」【編集】金谷さとみ 高橋仁美 (MEDICALVIEW) 「リハビリテーション職種のマネジメント」【著】高木綾一(CBR)		
評価方法	筆記試験		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	脳神経系の構造と機能		
担当教員	熊野 巴之		
学年	1年	学科	作業
単位数	8単位	時間数	120(60)時間
学習目標	脳神経系の構造と機能に関する知識を学び、リハビリテーション医学・医療を習得する上で活用できるようにする。		
授業計画	1 神経系の構造と機能・総論① 2・3 神経細胞 4・5 大脳皮質の構造① 6・7 大脳皮質の構造② 8・9 脳動脈系・脳室と髄膜 10・11 脳静脈系 脳循環 12・13 間脳の構造① 14・15 間脳の構造② 16・17 大脳基底核 18・19 大脳辺縁系 20・21 脳幹の構造① 22・23 脳幹の構造② 24・25 脳神経① 26・27 小脳 28・29・30 まとめ 国家試験対策		
教科書	『カラー人体解剖学 構造と機能・ミクロからマクロまで』【著】F.Hマティーニ 他（西村書店） 『病気がみえる〈vol.7〉脳・神経』【著】医療情報科学研究所（メディックメディア）		
参考書	『イラスト解剖学』【著】松村讓兒（中外医学社） 『系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 靱帯の有象と機能「1」』 【著】坂井健雄 他（医学書院）		
評価方法	授業態度、課題への取り組み、出席状況、期末試験などを含め、総合的に評価する。		
備考	前時の学習内容を自主的に復習し、各講の内容理解を深めていこう。 この科目は実務経験のある教員による授業科目である。 作業療法士として訪問看護（リハビリテーション）業務に携わる（10年間）。		

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	運動器系の構造と機能		
担当教員	濱藤 春暉		
学年	1年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	運動器系における解剖学、運動学の授業をします。 前期においては骨、筋の名称を中心に講義します。 国家試験に必要な知識の習得をする。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、身体の部位名、身体の位置に関する用語、身体運動の面と軸 2. 骨の構造と機能① 3. 骨の構造と機能② 4. 関節の構造と機能① 5. 関節の構造と機能② 6. 関節の構造と機能③ 7. 関節の構造と機能④ 8. 腱および靭帯の構造と機能 9. 骨格筋① 10. 骨格筋① 11. 骨格筋① 12. 骨格筋① 13. 骨格筋① 14. 身体運動と力学 15. まとめ、国家試験対策 		
教科書	『基礎運動学』【著】中村隆一・斉藤宏・長崎浩（医歯薬出版） 『病気がみえるvol.11 運動器・整形外科』【著】医療情報科学研究所（メディックメディア） 『運動学（15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト）』【著】小島悟（中山書店）		
参考書	『プロが教える筋肉のしくみ・はたらきパーフェクト事典』【著】荒川裕志（ナツメ社）		
評価方法	出席率、授業態度、前期末試験を総合的に判定する。		
備考	この科目は実務経験のある教員による授業科目である。 作業療法士としてリハビリテーション病院のリハビリテーション業務に携わる（10年間）。		

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	運動器系の構造と機能（口頭試問）		
担当教員	濱藤 春暉・中野 和代		
学年	1年	学科	作業
単位数	8単位	時間数	120(60)時間
学習目標	【概要】 運動器系・脳神経系の構造と機能の復習。 【目標】 スケッチ・口頭試問により、解剖学を理解する。		
授業計画	1. 上肢の骨、関節 2. 上肢の関節の運動 3. 下肢・体幹の骨、関節 4. 下肢の関節の運動 5. 上肢のランドマーク① 6. 上肢のランドマーク② 7. 上肢のランドマーク③ 8. 下肢のランドマーク① 9. 下肢のランドマーク② 10. 下肢のランドマーク③ 11. 頭頸部・体幹のランドマーク① 12. 頭頸部・体幹のランドマーク② 13. まとめ 14. 肩甲骨の運動と筋① 15. 肩甲骨の運動と筋② 16. 肩甲上腕関節の運動と筋① 17. 肩甲上腕関節の運動と筋② 18. 肘関節の運動と筋① 19. 肘関節の運動と筋② 20. 手関節の運動と筋① 21. 手関節の運動と筋② 22. 股関節の運動と筋① 23. 股関節の運動と筋② 24. 膝関節の運動と筋① 25. 膝関節の運動と筋① 26. 足関節の運動と筋① 27. 足関節の運動と筋① 28. 頭頸部・体幹の運動と筋① 29. 頭頸部・体幹の運動と筋② 30. まとめ		
教科書	『骨格筋ハンドブック』【著】野村嶺（南江堂） 『PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート』【著】中島雅美（医歯薬出版）		
参考書	『カラー人体解剖学－構造と機能・ミクロからマクロまで』 【著】F.H.マティーン M.J.ティモンズ M.P.マッキンリ（西村書店） 『基礎運動学』【著】中村隆一・斉藤宏・長崎浩（医歯薬出版） 『分担解剖学1 骨・靭帯・筋』【著】森於菟 他（金原出版） 『新・徒手筋力検査法』【著】Helen J. Hislop Jacqueline Montgomer（協同医書出版）		
評価方法	筆記試験（90%、口頭試問修了者のみ受験可能）。出席点（10%）。		
備考	・事前に各講の内容を予習して授業に臨むこと。 ・口頭試問の結果によって習熟度を確認し、必要に応じて復習プリントなどの課題を課す。 ・毎時、自己学習を繰り返しながら受講しよう。 この科目は実務経験のある教員による授業科目である。 作業療法士としてリハビリテーション病院のリハビリテーション業務に携わる。		

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	作業療法概論		
担当教員	濱藤 春暉		
学年	1年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	作業療法についての基礎的知識を身に付ける。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 作業療法は難しいか 3. 作業療法の歴史 1 4. 作業療法の歴史 2 5. 作業療法の定義 6. 身体障害の作業療法 7. 精神障害の作業療法 8. 発達障害領域の作業療法 9. 高齢期の作業療法 10. 高次脳機能障害の作業療法 11. 地域作業療法 12. 作業療法の周辺 13. 作業療法の理論 14. 作業療法部門の管理 15. 国家試験対策 		
教科書	『作業療法学ゴールドマスターテキスト 作業療法学概論』 【監】長崎重信(メディカルビュー社)		
参考書			
評価方法	期末試験		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	基礎作業療法学		
担当教員	滝川 忠喜 ・ 熊野 巴之		
学年	1年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	120(60)時間
学習目標	作業療法としての手工芸的な作業活動を少しでも多く体験し、今後活かせるものとする		
授業計画	1. 折紙 3. 紙漉き 5. 切り絵 7. 切り絵 9. アンデルセン手芸 11. アンデルセン手芸 13. 籐細工 15. 籐細工 17. 籐細工 19. マクラメ 21. マクラメ 23. マクラメ 25. 自由課題(グループ) 27. 自由課題(グループ) 29. 自由課題(グループ)発表	2. 折紙 4 紙漉き 6. 切り絵 8. 指編み 10. アンデルセン手芸 12. 籐細工 14. 籐細工 16. 籐細工 18. マクラメ 20. マクラメ 22. マクラメ 24. マクラメ 26. 自由課題(グループ) 28. 自由課題(グループ) 30. 過去問題	
教科書	『作業活動実習マニュアル』【著】古川宏（医歯薬出版）		
参考書	『作業—その治療的応用』【著】日本作業療法士協会（協同医書出版）		
評価方法	出席率・出席状況・課題提出・期末試験等 前期成績との総合判定		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	前期
科目名	臨床体験実習 I		
担当教員	臨床実習指導者 教員		
学年	1年	学科	作業
単位数	1単位	時間数	45時間
学習目標	①医療・福祉の現場体験をする。 ②社会人として基本的な心構えを実施する。 ③病院・施設の他職種・患者(利用者)様とのコミュニケーションを図る。 ④他職種との連携や流れを理解する。 ⑤対象者の病態や障がいを観察する。		
授業計画	・実習期間 (1) 令和3年8月23日(月) ～ 令和3年9月10日(土)のうち5日間 * 上記期間内に、5日間実施(9時間×5日間=45時間) ・報告会 後期期間中に施行		
教科書	必要に応じて資料配布		
参考書	実習指導者、教員等に必要な参考書籍、参考文献を確認すること。		
評価方法	臨床体験実習出席状況、臨床実習指導者の評価、報告会レポート作成、報告会発表態度・内容により評価する。		
備考			